



石川県 (株)車多酒造

『国内外パートナーと協力し、金沢の食中酒を海外へ』

【主な品目】

日本酒

【主な輸出先国・地域】

北米、欧州、東南アジア、アフリカ、他

【輸出取組の概要】

- ◆ 伝統の山廃仕込みを継承し、米や製法にこだわった日本酒を製造、昭和60年より商社を通じてアメリカへ輸出開始。
- ◆ 平成12年(2000年)以降より、積極的に海外への売り込み、販路を開拓。
- ◆ IWC(インターナショナル・ワイン・チャレンジ)の日本酒部門の立ち上げや、日本初となる清酒の地理的表示、GI「白山」の取得に係わり、日本酒の知名度向上にも貢献。

【輸出実績】(昭和60年度より輸出開始)

	輸出量(kg)	出荷時期
令和5年度	52	通年
令和4年度	50	
令和3年度	64	

【効果があった取組】

当社製品の「山廃」の特徴である、味が濃く酸味のある味わいや、地元産の米を原材料とするこだわりを、現地シェフへ直接PRすることで、他に無い個性が評価され、交渉が優位となった。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 国内の日本酒市場が縮小するなか、新たな需要の創出と販路開拓が急がれた。
- ・ 輸出を始めた当初、日本酒の知名度がまだ低い海外においては、小さな市場のなかで、他社と市場の奪い合いに陥りやすく、継続的な輸出に課題があった。

【生じた課題への対応】

- ・ 海外へ出向いて、現地レストラン等への直接営業で、地道な販路開拓を実施。
- ・ 新たな国への販路開拓を探る。
- ・ IWCの他、フランスKura Master等、世界の日本酒コンテストへ積極的に参加しPR。

【対応の結果】

- ・ 海外での継続的な営業を行うことで、人脈が形成され、視野が広がった。
- ・ 現地のシェフ等と直接顔を会わせ、交渉や意見を聴くことで、信頼関係が構築。
- ・ 地酒未開拓の地へ輸出事業開始。
- ・ IWCの日本酒部門が設立されたことで、日本酒の認知度や評価が高まった。また世界の日本酒コンテストへ参加・受賞により、銘柄の認知度・評価も高まった。

【今後の課題・展望】

- ・ 国内インバウンドの創出や、継続的な海外営業により、生産量に占める輸出比率を1から2割に高めたい。
- ・ 海外現地の食事とのマリアージュの研究。また、その発信方法とパートナーとの連携。

【ウェブサイト】 <http://www.tengumai.co.jp/>

【連絡先】 担当者名:営業部長 横山 直樹 TEL:076-275-1165

フランス Kura Master 2024
部門最高賞&特別賞 表彰式石川県独自開発の酒米
「百万石乃白」を使用した
「天狗舞comon純米大吟醸」